

2013年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電子回路Ⅱ(再)						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子回路を構成するダイオード、トランジスタなど各種部品の電気的特性の説明ができる。(B3) ・演算増幅器の動作と機能を説明できる。(B3) ・電子回路とキルヒホッフの法則との繋がりが説明できる。(B3) ・演算増幅器を用いた比例回路の計算ができる。(B3) ・演算増幅器を用いた微分回路と積分回路の計算ができる。(A7,B3) ・演算増幅器を用いた各種フィルタの計算ができる。(A7,B3,C2) 						
日程と内容	09/16 講義の概要+単位と次元+電圧源と電流源 09/23 R, L, C回路素子と電子回路 09/30 回路素子(ダイオード)の特性と動作原理 10/07 回路素子(トランジスタ)の特性と動作原理 10/14 演算増幅器による反転・非反転増幅回路Ⅰ 10/21 演算増幅器による反転・非反転増幅回路Ⅱ+(演習1) 10/28 演算増幅器による差動増幅回路 11/02 増幅度と利得・加算・電圧フォロア回路 11/11 演算増幅器による微分回路・積分回路Ⅰ 11/18 演算増幅器による微分回路・積分回路Ⅱ+(演習2) 11/25 比例・積分回路+一次遅れ回路 12/02 各種フィルタ+周波数伝達関数 12/09 ボード線図+周波数特性+(演習3) 12/16 低域フィルタ+遮断周波数(カットオフ) 12/23 総合演習+(演習4) 01/22 定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	40%					
授業到達目標の達成度	概ね授業到達目標は達成できた。						
反省点	前年度に定期試験を受ける前にドロップアウトした学生が多かったので、再履修クラスを設けて授業した。出席率は改善されたが、電子回路とキルヒホッフの法則との繋がりがや演算増幅器の動作・機能などの根本的なところが理解できていない学生のサポートで講義の後半部分が時間的に窮屈だった。						
来年度の計画	授業内容については概ね今年度の計画を踏襲しつつ、学生の理解を定着させる工夫を図る。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業の総合評価は8.3点で、全科目の平均値を辛うじてクリアしている。アンケートの授業の理解度を図る項目において、学生の理解を助ける工夫や授業の改善策を講じる必要があると考える。再履修クラスで比較的少人数だったためか、授業の予習・復習の項目で相対的に評価が良かった。さらに、学生の興味を引き出せるよう努力する。						
履修登録者数	22名	定期試験受験者数	21名	合格者数	16名	合格率	76%